

PTA 主催行事 令和6年度大阪府医療的ケア児支援センター×岸和田支援学校連携事業  
防災×電池デイキャンプ（報告）

R6.11.30（土）13:30～15:30



大規模災害のみの想定ではなく、身近な災害にも対応できるよう準備（必要なもの・ことを把握）し、災害発生後、各家庭での初期対応を早め、さらには防災意識の向上及び関係機関との連携をはかることを目的とし、学校、地域（医療）、保護者間で必要とする対策及び情報の共有をめざすために、初めての取り組みとして「防災×電池デイキャンプ」を実施しました。午前中は、各学部とも授業参観を行い、全校1便下校後に開催しました。授業参観があった関係で限られたスペースでの実施となりましたが、外部からも学校関係者や保健師さんなど多数ご参加いただき、各ブースとも時間いっぱいまで賑わい、大変充実した時間を過ごすことができました。以下、各ブースの内容について、報告させていただきます。



1. 非常時のペースト食等についてのレクチャー

【担当】大阪府医療的ケア児支援センター

【内容】大阪母子医療センターの管理栄養士の皆様に非常時のペースト食を中心にレクチャーしていただきました。ポータブル電源やミキサー、カセットコンロ、本校に備蓄している非常食を使用し、ペースト食を作り、いかにバランスよく栄養を補うのか、詳しく教えていただきました。45分×2回のレクチャーでしたが、どちらも調理室が満員になる賑わいで、皆さん熱心に聞いていました。



2. 避難所体験コーナー

【担当】岸和田市役所危機管理部危機管理課

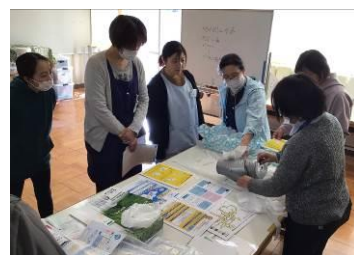
【内容】避難所体験コーナーということで、岸和田市役所の皆様に段ボールベッドやテント式トイレ、プライバシー TENT を設置していただき、来場された方が実物を見て体験することができました。避難所で過ごす際に役立つグッズや実際に災害現場に行かれて体験した生のお話をたくさん伺うことができ、各家庭で避難する際の準備について考える機会となりました。



### 3. 災害時のおむつ使用等についてのレクチャー（臭い防止や身体清拭用品等）、簡易トイレ展示

【担当】川村義肢エイドセンター大阪

【内容】本校 PTA のサークル活動でも何度かお話を伺っている川村義肢エイドセンター大阪からレクチャーしていただきました。ビニール袋を使った代用おむつの作り方や排泄物の拭き取りがしやすくなる保湿剤のサンプル、いろいろなおむつの紹介等、役立ちそうな情報をたくさん教えていただきました。実際に下腹部の模型を使って教えていただき、大変わかりやすかったです。段ボール箱やペットボトルで作る簡易トイレも好評でした。



### 4. ハイブリッド車の電源を使用したコーナー

【担当】トヨタカローラ南海東岸和田店

【内容】学校のすぐ近くのトヨタカローラ様と連携し、ハイブリッド車と福祉車両の展示をしていただきました。ハイブリッド車から取った電源で、暖房をつけたり、福祉車両に試乗したりしました。いざという時には車から1500Wもの給電ができることや電気製品の消費電力などを教えていただきました。また、車から給電した想定で、本校のわたあめ機を使ったわたあめ作りもしました。口の中で溶けるわたあめは、子どもたちに大人気でした。



### 5. 電源付け替えコーナー

【担当】大阪府医療的ケア児支援センター

【内容】ゆたかな株式会社の臨床工学技士に来ていただき、人工呼吸器等の様々な医療機器についてお話していただきました。ポータブル電源やソーラーパネルから医療機器に電源をつなぎ、どれくらいの電力消費量があるのか、デジタルエコチェッカーも使いながら電力消費量を実際に数値で見えるようにして教えていただきました。なかなかお話を伺う機会の少ない医療機器の説明に皆さん興味津々に聞いていました。





## 6. 防災用の焼き芋機を用いた非常食喫食

【担当】PTA

【内容】以前より防災用に保管している焼き芋機を使って、本格的な石焼き芋を作りました。キャンプ道具やバーナーで炭に火を起し、PTA 役員さんが農家より取り寄せた立派なさつまいもを調理しました。この焼き芋機は一度に20本くらい調理でき、上部の庫内で保温もできる優れもの。大人も子どもも大満足の表情で頬張っていました。大阪府医療的ケア児支援センターのペースト食ブースともコラボし、焼き芋ペーストも試食できました。



## 7. 児童生徒お楽しみコーナー

【担当】PTA

【内容】災害時は緊張の連続です。リラックスできる場所や物も必要です。PTA では、子どもたちが楽しめるコーナーを校内にある器具や発電機から取った電源で作れないか考えました。ボウリング、千本引き、発電機の電源を利用したユーチューブダンスやエアートランポリンの4コーナーは、児童生徒、きょうだいに大人気で、時間いっぱいまで全力で遊んでいました。



## 8. 校内にある防災備蓄品展示コーナー

【担当】教員

【内容】PTA では各家庭に非常用の持ち出し袋を用意していただき、長期休みに賞味期限など点検していただいています。学校に保管している防災備蓄品もお知らせはしていますが、現物を見たことがない人も多かったのではないのでしょうか。非常用の食品やトイレ用品、寝袋や毛布など、見たり、触ったり、寝転んだりして、「こんなんもあるんや」と驚いていました。



すべてのブース制覇で景品(バスボム、長期保存ビスケット)をゲット!



## 参加者からの感想

ご参加いただいた方にアンケートを実施しました。今回の防災×電池デイキャンプについて、「全体的な内容」「防災意識が高まったと思うか」「今の生活や職務に生かすことができるか」の質問には、肯定的な回答が100%でした。各ブースについても良かったという回答が平均70%を上回りました。参加者のニーズが異なりますので、肯定的な意見が70%を超えているということは、主催したPTAにとっても満足のいく結果であったように思います。以下、自由記述でいただいた感想の一部を記載させていただきます。

- それぞれのブースで丁寧に説明を受けることができ、支援対象者や自分自身の備えについて、具体的にイメージを深めることができました。ここで得た知識やご縁を今後の活動に活かしていきたいといます。ありがとうございました。
- 資料があればよいと思った。
- 岸和田市の福祉避難所にもなっているので、具体的にイメージができてよかったです。
- 体育室のアクティビティが最高に楽しかったです。子どもが大きくなり思い切り遊ばせてあげられる場がなかったので、親子共々大喜びでした。難しいとは思いますが、卒業してからも参加できたらいいなあと思いました。避難所体験では想像よりも快適に過ごせると知ることができたり、簡易トイレの作り方を学んだりするなど、とても参考になりました。医療的ケアがなくても参加できるということをもう少しアピールしてもよかったかなと思います。日頃から防災意識の高い父親も来ていたのですが、参観終了からの空き時間が長かったので、今回参加できず残念でした。
- 防災電池デイキャンプに参加させていただきありがとうございました。児童生徒、保護者及び学校関係者の方と直接お話することができて大変良い機会になりました。
- ほんと参加してよかったです。他にも放課後等デイサービスなど、たくさんの方が参加できたらと思います。来年度も開催を希望します。自衛隊のブースやAEDの使い方なども体験したいと思います。